

第2回団体交渉開催

本部は、3月1日・3日第2回団体交渉を開催しました。

— 会社側の現時点の考え方 —

- ◎社員への効率化に伴うこれまでのご尽力には感謝している。
- ◎政府、経団連の動向は理解しているが、現状決算をみても回復の兆しはあるものの、鉄道運輸収入は80%満たない状況で、コロナ禍前に比べるとまだ伸び悩んでいる状況。
- ◎世間の物価上昇は、社員にとって影響が大きいのは理解しているが、会社にとっても燃料費や資材費用などの支出に大きな影響がある。
- ◎今後も慎重に検討していく。

— 組合側の主張 —

- ◎これまでの期末手当などの低回答。また、効率化による作業の増加により、社員は疲弊し、その中でも若い世代の離職者は増え続け、30代40代の社員まで離職者は増えている。

人への投資を積極的に行うべき

- ◎現場で働く社員は、お客さまの増加を肌を感じ業務を行っている。我々のベア13,000円、夏季手当3.5ヵ月分は世間相場を見ても決して大きい数字ではない。
- ◎55歳以上、嘱託再雇用社員についても賃金引上げを強く訴える。

— 制度政策関係 —

- ◎55歳以降の在職条件の改善及び、60歳以降の雇用について
- ◎嘱託再雇用社員の労働条件等について
- ◎賃金・手当について
- ◎その他

25項目 113要求について 全てに対し現行通りの回答でした！
協議の中で、

- ◎各運転職場要員は足りている。
- ◎年休についても、運転職場で平均13日取得出来ている状況。
- ◎65歳以上の嘱託再雇用社員への、短日数制は希望者は全て選択できる。

各職場、勤務変更、特休公休での超勤乗務が多発する中で本当？